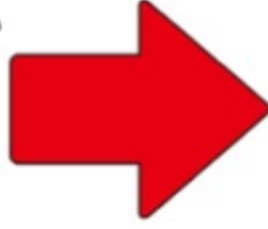


『こども家庭庁に解決してほしいこと』

『今の状況』

児童相談所の環境が十分ではない
(こどもや保護者の対応に追いついていない)

- ・相談したけど解決されない状況

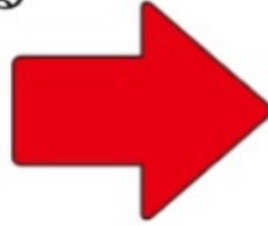


『解決策』

- ・人数の増員
- ・相談しやすい環境にする

いろいろな経験をした人が
(いじめ、虐待、ヤングケアラー)逃げ場を求めて集まっている場所がある

- ・犯罪が起きてしまったり、巻き込まれてしまう可能性がある



遊び場+心のよりどころ

こどもを中心とした地域の総合施設を作る。

- 「そこは」
- ・いろいろな辛い経験をしてきた人が集まれる場所
→大人がこどもに対して優しい目で見えてくれる場所
→大人もこどもも困っていること、考えていることを相談できる場所
(大人からの実体験を通したアドバイスを教えてもらえる場所)
→こどもたちの意見が届ける

周りの人の通報のしやすさ

- ・虐待されている人は自分が虐待されていると思わないケースがある
- ・周り、自分が気づく環境作り
(幼い頃から受けていたり、すぐに見分けてられないような傷があったり、これくらい普通など)

悪循環を防げる
(虐待の連鎖)

こどもが大人を信用
できる社会

こどもの声が実際に
届けられること

別の道、別の正解があると
言うことを知ってほしい。